

自然と一体！女神湖カヌー体験

2年生の「地域Ⅰ」の授業では、9月になると2回にわたり、カヌー体験が行われます。生徒は昼休みにマイクロバスへ乗り込み、蓼科山に抱かれた女神湖へ出発。下界は30℃の猛暑も、標高1,540mの女神湖では気温20℃と、別天地の涼しさと爽やかさでした。

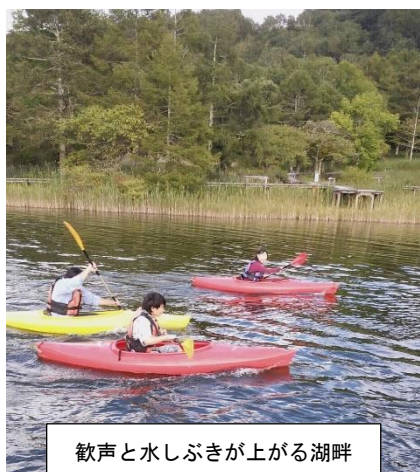
カヌーの魅力は何と言っても自然と一体になれること。乗ってみる

と分かりますが、下半身は水面下に入り操作も自在で、自分がまるで水鳥になった感覚になります。参加した生徒は、インストラクターの先生に基本操作を教わり、存分に楽しさを味わっていました。ハイライトは、アイスクリームが賞品のカヤック競争。参加生徒に感想を聞いたら、『僕はカヌーをするために蓼高に入学したんです。』と言い切る人もいてびっくり。

最後にこのような貴重な観光体験をしてくださった女神湖センターのスタッフの皆様、カヌー協会の会長様に、大変感謝しています。ありがとうございました。



夏の蓼科山と女神湖



歓声と水しぶきが上がる湖畔



アイスを目指しゴー！

困ったお話(その7) 私のサラメシ

単身生活となり、お弁当を作って4年目になる。前任校で家庭科の先生に激しく師事したところノルマになってしまい、毎朝起きると強迫観念に駆られ弁当箱へ何かを詰め始める。献立や食材調達から、調理、詰め合わせ、片付けと大変な労力だ。このために奪われた私の貴重なコロナワクチンの開発や素数定理の証明の時間ではなくて、朝の惰眠の時間を返してほしい。弁当のメリットはといえば、健康管理や経済的に多少プラスになったことと、妻は畏怖から畏敬の対象に変わったことだろうか。あと、下手の横好きからデザートづくりや漬物をはじめたことで、ラジオ体操をする時間も奪われた。困ったことになっている。



①



②



③



※

- ① 9月10日(木) ゴーヤチャンプル、青菜の胡麻和え、冷凍食品の弁当と、バナナヨーグルトにナッツをトッピング
- ② 9月 9日(水) 鶏そぼろあんかけ、青菜の胡麻和え、焼きサバ、冷凍食品の弁当と、リンゴヨーグルトとナッツ
- ③ 9月 8日(火) ゴーヤチャンプル、筑前煮、浅漬けとミニトマト、冷凍食品の弁当。デザートは無し。

※ 6月に小川村の自宅で収穫した梅でつくった。ジップロックで漬けてみたら、何とか人間の食べられるものに。